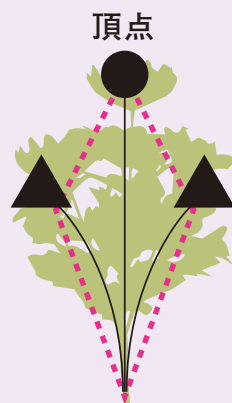


墓前用供花 アレンジのポイント

Point

1 フォームはひし形が基本

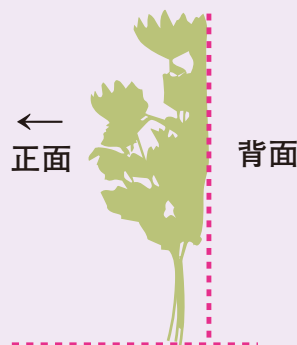
まず頂点(●)を決め、花(▲)を2輪、両サイドに添えます。
この3点をベースにしたひし形をキープしたまま、
他の花々を添えていくと、基本のフォームが出来ます。



Point

2 背面はフラットに。

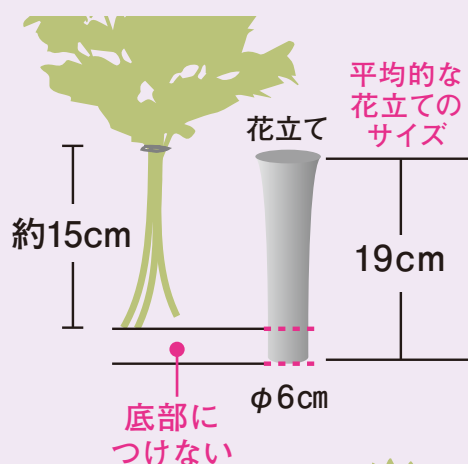
花立ての後方にある墓石にぶつからないよう、
アレンジの背面はフラットに仕上げるのが基本となります。
また、このフォームは段違いに並べられる祭壇用供花でも
用いられます。お札を挿すときにも邪魔になりません。



Point

3 ステムは花立ての 高さより短くカット

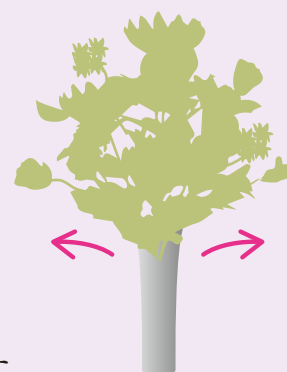
全国の平均的な花立てのサイズはφ6cm高さ
19cmです。花立ての底部にステムがつくと、グラ
ツキの原因となるので、花立ての高さより4~
5cm短くステムをカットします。



Point

4 アーティフィシャルが 適している理由^{ワケ}

墓石用花立ての平均サイズは約φ6cm。花向きを自在に操れる
アーティフィシャルフラワーなら、小さい口径の墓石用花立てでも
左右に広げることができ、美しいフォームに仕上げる事ができます。



サイドへ広がりをもたせる
ラインが出来ます。